

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 14 日(土)

試合時間：18：20～

CC：松永 雄平

U1：西崎 拓哉

U2：岡井 元毅

九州産業大学	● 81	23	—1st—	15	○ 85	鹿屋体育大学
		20	—2nd—	28		
		24	—3rd—	24		
		14	—4th—	18		

第 1 クォーター

鹿体大 #2 櫻谷のジャンプシュートで試合が始まる。序盤、九産大は全員で攻めるも、なかなか得点につながらない。しかし、#37 松田のシュートが決まると続けて #32 Anthony も得点し流れを引き寄せ。対する鹿体大は #21 池浦がゴール下で奮起。バスケットカウントを獲得し、リードを譲らない。中盤、両チーム一進一退の攻防が続く、均衡した時間が続く。しかし、九産大 #13 上良がスティールから速攻で得点を決めると、#5 Jeremiah の連続 3P シュートを沈め、鹿体大を突き放し、23-15 と九産大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

点差を縮めたい鹿体大は、開始早々、#2 櫻谷がシュートを決め、九産大に食らいつく。対する九産大は #9 米須のアシストで流れをつくり、#5 Anthony の連続得点でリードを広げていく。中盤、鹿体大 #12 川尻が連続得点で勢いをつけ、#35 櫻田の 3P シュートで逆転する。堪らず、九産大は残り 4:23、タイムアウトを請求。しかし、タイムアウト後も鹿体大の勢いは止まらない。終盤、九産大の #24 児玉が続けて得点を重ね、点差を広げさせない。その後も両チーム得点を重ね、43-43 と同点で前半を折り返す。

第 3 クォーター

前半同様、両チームとも激しい攻防が続く。鹿体大は、積極的に全員が攻め #23 松井と #2 櫻谷が次々と得点を重ね、九産大との差を広げていく。対する九産大は、#9 米須のスティールから流れを引き寄せ、#37 松田と #52 千々岩の連続 3P シュートで点差を縮めていく。終了間際、試合の流れを掴んだ九産大は #13 上良がブザービートを沈め、67-67 と同点で第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

最終クォーターに入り開始早々、ノーマークになった鹿体大 #24 宮崎が 3P シュートを沈める。流れを完全に掴んだ鹿体大は、#24 宮崎に続けて #21 池浦もバスケットカウントをもらい九産大との得点の差を広げていく。対する九産大は、果敢にシュートを放つがゴールに嫌われ得点につなげることができない。終盤、点差を縮めたい九産大は #13 上良が 3P シュートを沈め、流れを変えると、続けて #32 Anthony がインサイドで相手のミスを誘う。両チーム最後まで粘り強く戦ったが、最後は鹿体大がリード守り切り、85-81 で 3 年ぶりに鹿体大が白星をあげた。